

ふれあい

NO. 203

2010. 5. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会
(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

その人らしい暮らしを実現するために
～大阪市の施策と市育成会の取り組みについて

PART 1～

大阪市では、「障害のある人が持てる力を発揮し、地域社会の一員として自立した生活ができるまちづくり」の実現を目指し様々な取り組みが進められてきました。

障害者基本法に基づき、平成20年3月には「大阪市障害者支援計画 後期計画(平成20年度～23年度)」を策定し、障害のある人の「個人としての尊重」「権利実現に向けた条件整備」「地域での自立生活の推進」の実現を目指し、平成23年度までに達成すべき課題を掲げ、その達成に向けた施策の方向性や重点的に取り組む施策が分野別に示されています。

その中の「生活支援」の項目では、障害のある人が生活のことで困った時に身近なところですぐに相談したり、一人ひとりにあったサービスを利用して地域で安心して生活できるよう、いろいろな施策の充実に努めるとされています。そのためには十分なサービス提供基盤やサービスの質の確保及び情報提供が重要になるため、大阪市ではそれぞれの課題に対して施策の方向性を出しています。

その一方で、事業者としても、利用されている方はもちろんのこと地域のニーズが何なのかということに常に目を向け、応えていけるよう取り組んでいかなければなりません。当育成会でも現在7施設(東成育成園・港育成園・港第二育成園・ワークスいけじま・地域生活支援センター・福島第一育成園・福島第二育成園)を運営していますが、それぞれの地域性や強みなども活かしながら、日々、試行錯誤を繰り返しより良い支援を目指しています。

今年度は、折をみながら、当育成会の施設・事業がどういったことを大切にしながら何を目標しているかといったことに触れていきたいと思えます。その初回ですが、東成育成園の取り組みについて掲載しています。

ひがしなり～それぞれの役割～

今回は東成育成園の紹介をさせていただくことになりました。

最初に概要とその後いくつかのキーワードを挙げさせていただくことで、できるだけポイントが分かりやすく伝わるといいなと思っております。

<東成育成園>

通所更生施設(旧法施設支援)です。

取組みとして、毎日の作業活動に加え、クッキー班、運動グループや食育グループ、個別活動、年数別活動、毎月の行事、希望者登園日(月に一回、土曜日のイベント)など盛りだくさんな内容となっていて、「よく働き、よく遊ぶ」を合言葉に日々、利用者の方が充実していけるよう取り組んでいます。

まず、作業活動ですが活動全般の基盤になると私たちは考えます。毎日に継続してできることを提供することで生活のリズムを整えるだけではなく、私たちは「仕事」と位置付けて集中力、意欲、達成感、社会性の伸長など、あらゆることへの働きかけをしています。

作業室はミシン班、ブタクマ班、ボルト班(昔の作業種類の名残で今でもそう呼んでいます!)と3つあり、作業室それぞれにカラーがあり、利用者がどこに適しているか、どんな経験を積むかで班分けをしています。個別に細かく取り組むことが望ましい人、集団・グループの効果を期待できる人、その中間でグループでの効果を期待しつつもスタッフとの距離が近すぎず遠すぎないことが望ましい人…作業室変更で変化がほしい人など、一人一人のニーズにできる限り応えられる体制をとっています。また、作業班とは別にクッキー班を設けていて、ひと月に1回販売日に向けてのクッキー製造と不定期に企業内(NTTコミュニケーションズなど)で販売もさせ

